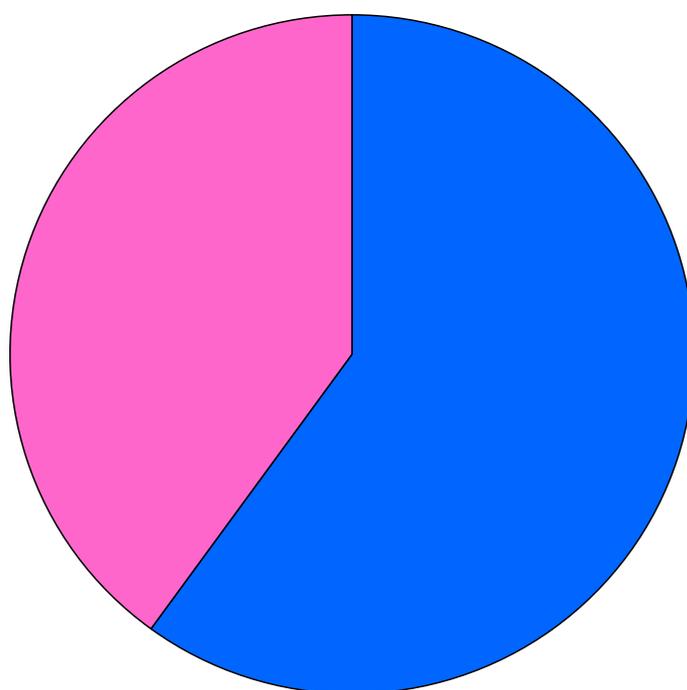


質問1 今回の教育のデジタル化研究会の内容はいかがでしたか。

No	解答	人数	%
1	良かった（理解できた）	9	60%
2	やや良かった（やや理解できた）	6	40%
3	あまり良くなかった（あまり理解できなかった）	0	0%
4	悪かった（理解できなかった）	0	0%
5	どちらでもない	0	0%
合計		15	



【自由記述】

・秋田先生の仰ったWEB会議上ではワイワイガヤガヤができない、という問題ですが、TV会議との違いは各個間の音量ミキシングではないでしょうか。例えば仮想空間上でアバターを操作し、近い距離の人とは大きくクリアな音声で、遠い人の声は小さくぼやけて聞こえる、というように音量を調整できれば、現実世界と同じように多対多でのコミュニケーションが実現できるのではないのでしょうか。それが可能であればZOOMの先の遠隔コミュニケーションの形となるかもしれないな、と思いました。

・DPPの効果（長期的コミュニケーション）は、皆様にとっては今更だと思えますが、私にとっては新たな気づきでした。

・DPPとZOOMの共存につき理解できた。

・ライブ配信、PCより視聴させていただきました。DPPとZoomの併用方法、DPPの強みについて理解できました。継続的に使用する場合、単発で使用する場合の活用については、もう少し勉強したいと思いました。

・ありがとうございました。チャットURLによるZoom、DPP連携は、単発の講演、研修、会議にも有効です。わかりやすく、効果を実感できる具体例を蓄積していけるといいですね。

・zoomとの共存、差異などまだまだ議論があることを実感しました。また、教育場面での利用が前提のように思われる一方、そうではない場面での利用も考えたいところです。 / [REDACTED]

・最後の問題でどのようなお客様にご提案したらいいか？教えてください。

・参加させていただきありがとうございます。やはり、教育の現場で使わないともったいないですね。毎回、勉強になります。ありがとうございました。 [REDACTED]

・加藤先生の意見に賛同します。Zoom+DPPでしかできない尖った特徴があるとZoomだけの利用と差別化できると思います。

・Zoom+DPP学習者側の使い勝手の改善が必須です。

・資料が見やすくよかったです。zoomとの併用について使い方の説明は必要かな？と思いながら聞いていましたが、そこから提案が出てきて有意義だったと思います。

・永岡先生のお話をきっかけとした「多対多」のネットワーク型、ソーシャルコミュニケーションの議論は面白いと感じました。リアルな「わいがや」はこれから実現できるのか？高度なコミュニケーションスキルが必要とされると感じますし、DPPがファシリテーションの役割を担うとなれば、非常に興味深いですしノウハウの蓄積も必要だと思いました。来年度計画の5つのテーマは重要かつ面白いと思いますが実現も結構大変なのかもと感じました。ZoomとDPPのリンクですが、Zoomというツールがまたってかわることもあるかもしれません。必要なポップアップが出てくる、手前でフロートするなど、どんなアプリともコラボできると面白いのかも・・・ライブ+DPPの使いやすさを実現できると一番いいですけど。おつかれさまでした！

・良かった

・講義の内容を評価する 学習者の集中度を評価する ……と活動内容5項目ありましたが、この2つの評価軸というか基準ってどういうものを想定しているのだろうか？
営業トークを評価するというものは、投げかける質問の個数とか 話してる時間 聞いている時間などで評価するのだが 学校の講義となると・・・ Zoomとか他ではない機能利点がDPPにはある。それは相手との長期間にわたるコミュニケーション
という加藤先生の話聞いて 学校教育向けだということが改めて認識できた。
このDPPは最大同時に何人まで使えるのか？ と疑問がでた

・DPPが今後いっそう普及していくと良いですね。